



さらなる品質向上のために

社会的基盤の形成や維持といった建設業の基本的役割と責任を十分に果たすとともに、多様化するお客さまのご要望にお応えするべく、さらなる品質の向上を目指しています。フジタは1996年より品質マネジメントシステム(ISO9001認証取得)を構築し、下図のような一貫通貫の品質マネジメントプロセスを運用しています。そして、お客さまの求める品質をよりの確に実現するため、経営者がシステム全体の運用状況を定期的に点検し、継続的な改善に努めています。

また、「品質・環境物損事故報告制度」を設け、施工中・施工後に事故が起きた場合には、速やかに問題を解決し、再発防止策を水平展開する体制を整えています。アフターケアについては、情報の一元管理、全店で共有できるデータベース「お客さま対応システム」を構築し、本社・支店が連携して迅速に対応できる体制を整えています。不具合情報は研修などの教育にも反映し、品質の向上と事故の未然防止に役立っています。



上席執行役員
品質・環境本部長
組田 良則

施工プロセスを遵守した品質管理の徹底

品質確保のための管理体制の強化

2023年度より建築検査部、土木検査部が品質・環境本部に加わり、より独立した立場で品質管理を徹底する体制となりました。

建築検査部では、重要工事の初期、中間、竣工時指定検査により、施工水準の向上を図ることで顧客満足を高めるための指導を行なっています。

土木検査部では、全作業所を対象とした巡回検査により、品質管理状況の確認、および工事成績評価点向上のための

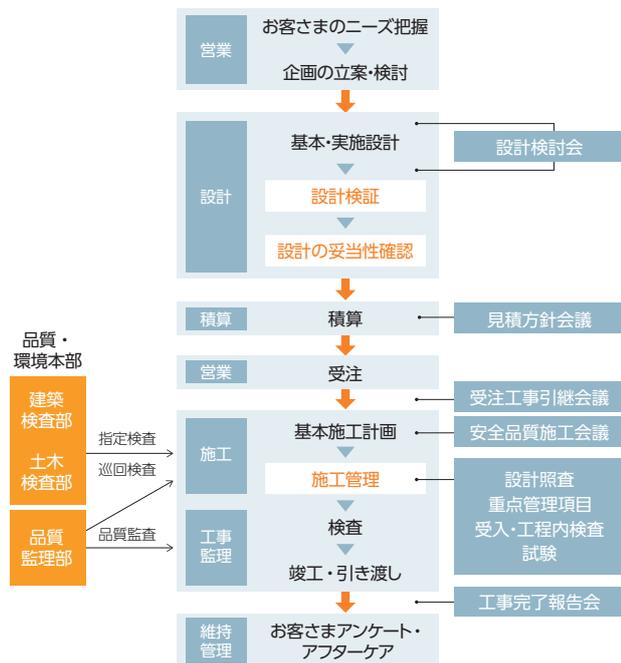
指導を行なっています。

品質監理部では、建築・土木の施工管理および工事監理に対して施工管理要領および建築設計・監理要領のプロセスが適切に運用されていることを確認する品質監査を実施し、全店の品質管理業務の点検を行なっています。

2024年度からは施工開始時の安全品質施工会議での品質チェック体制を強化しました。フロントローディングを徹底し、事前に品質リスクを抽出して、アフタークレームや品質事故を防止する対策を全員で共有する取り組みです。

また、品質事故に関する統計的な管理指標を新設しました。全社および支店の品質に関する数値目標を明確にすることで品質事故防止を徹底します。

品質マネジメントプロセス



真因分析と再発防止の組織風土を醸成

万が一、品質物損事故が発生した場合には即時に経営層まで情報が報告され、全社で対応できる体制を整備しています。事故報告会においては真因の分析と再発防止策の検討がされるとともに、情報の水平展開や社員教育への反映を確実にし、同様の事故を二度と起こさない組織風土を醸成しています。

2024年度 品質向上に関する重点取り組み事項

- 品質確保のためのフロントローディングと教育
- 施工プロセスを遵守した品質管理の徹底
- 品質不具合・事故の即時全社共有
- AI・DXによる品質向上へのチャレンジ